

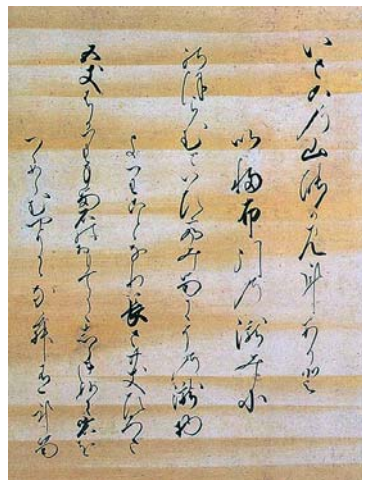
江戸時代の婚礼調度品として使用された 伊勢物語歌カルタ・伊勢物語画帖



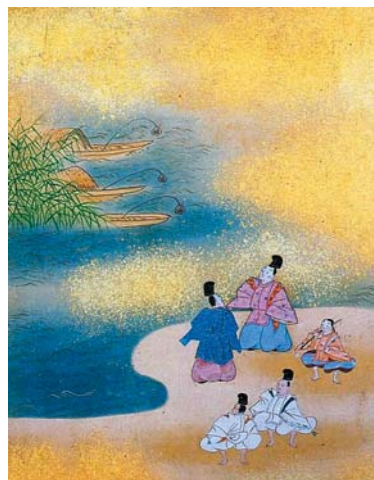
伊勢物語歌カルタ/江戸時代(絹本着色墨書)



伊勢物語歌カルタ/江戸時代(絹本着色墨書)



伊勢物語画帖/江戸時代(紙本着色墨書)



伊勢物語画帖/江戸時代(紙本着色墨書)

美術博物館には、旧石器時代から現代に至るまで、さまざまな歴史の口マンを句々々、先人たちの遺産が数多く収蔵されています。こうした魅力あふれる収蔵品にふれ、芦屋が数々の歴史の舞台となっていたことに思いをはせて、新たな発見をしていただきたいと思います。

■埋蔵文化財資料
芦屋には、国史跡である会下山遺跡をはじめ、多くの遺跡が分布して



緑・赤彩彫形埴輪/5世紀末ころ古墳時代(打出小椋古墳出土)

「靱形埴輪」右写真は、全国的にも珍しい緑色と赤色の彩色がなされた埴輪です。緑色の絵具は九州の古墳で用いられたものと同じであることが判明し、打出小椋古墳は、近畿地方で初めて九州系の彩色技術を受容した古墳と位置付けられました。

九州と近畿の人々がどのような交流をしていたか、見る人の想像をかきたてる資料です。

当館では、主な遺跡からの出土品を多く収蔵していますが、今回は、昭和六十三年に発掘・出土した打出小椋古墳の靱(ゆき)形埴輪をご紹介します。

■歌名所古代芦屋の歴史資料
また、芦屋はその風光明媚な土地柄から、古くより和歌が詠まれる名所として有名でした。在原業平がその主人公といわれる平安時代の歌物語「伊勢物語」にも、それらの歌が取り上げられています。「伊勢物語」の流行をしのびせる品々のうち、「伊勢物語歌カルタ」や「伊勢物語画帖」(左写真は、画面に金箔が散らされ、江戸時代の贅せいがみられた婚礼調度品です。)

■その他歴史資料
その他、江戸時代の、摂津名所図絵など、芦屋に関する歴史資料を数多く所蔵しています。

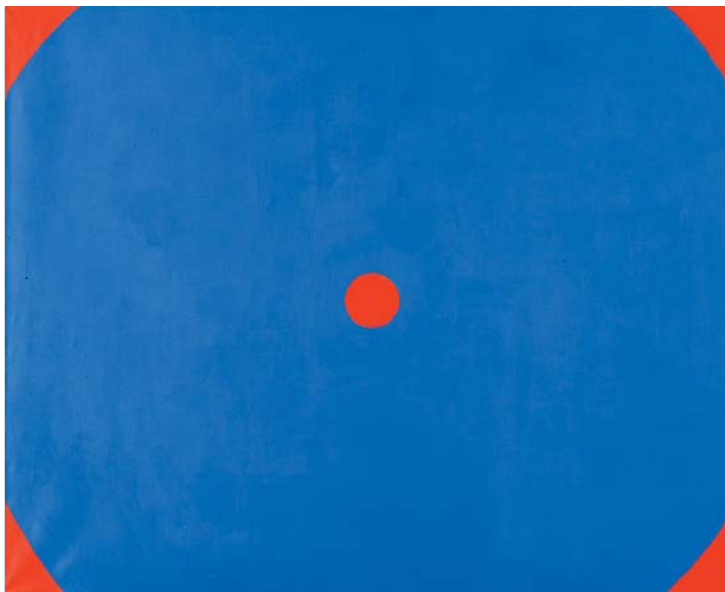
歴史の重みを感じさせる埴輪はにわ)や多岐にわたる歴史的遺産にふれ、芦屋の魅力により多くのかたに発見していただきたいと思えます。

先人たちの息吹が伝わる歴史資料

紙上展・芦屋の至宝(コレクション)

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

美術博物館は平成3年の開館以来、芦屋ゆかりの美術家を中心に、近代・現代の作品や芦屋の自然や歴史に関する文化財・考古資料の収集・保存・調査・研究を行い、地域の文化振興に貢献してきました。今後も、市民の皆さんにとってより身近な美術館として、芦屋ゆかりの美術や地域の歴史情報を発信していきます。今回は、当館が所蔵しているコレクションや歴史資料の一部をご紹介します。芦屋ゆかりの美術に親しみ、また歴史の豊かさにふれていただける美術館で、その出会いを心ゆくまでお楽しみください。



吉原治良「作品」昭和45年/アクリル・布

「具体美術協会」という名前を、ご存じでしょうか?
「具体」は昭和二十九年(一九五四)抽象美術のバイオニア・吉原治良をリーダーとして、芦屋の地で結成されたグループです。

そのグループ名は、「われわれの精神が自由である」という証を具体的に提示したい、という願いが込められたもので、「人の真似をするな」「誰もやっていないことをやれ」という吉原の教えのもと、既成の美術の概念を超えた活動・作品で、当時の衆目を集めました。

その発想の奇抜さからか、国内での評価はなかなか得られませんでした。だが、昭和三十一年(一九五七)に来日した仏人美術評論家ミシェル・タビエからの絶賛が契機となり、「具体」は一躍世界の場へと躍り出し、現在に至るまで高い評価を得ることになったのです。



嶋本昭三「作品」昭和38年/塗料・布

当美術館は、具体発祥の地ということから、具体のコレクションに恵まれ、開館以来多くの具体の展覧会を開催してきました。

具体の展覧会に来られた来館者の皆さんとお話をする折には、まず冒頭のように「具体美術協会についてお尋ねすることにしてはいますが、ご存じないかたが多いというのも、残念ながら実情のようです。

抽象は苦手というかたも、まずは自由な発想で楽しみながら、これらの力強い作品たちに向かい合い、目を合わせたいと思います。

「具体」の作家たち



元永定正「いろはの2」昭和53年/アクリル・布

芦屋から世界へはばきたい「具体」の美術

創造を求める熱意にあふれ、関西における前衛美術界を強くけん引してきました。

代写真の幕開けを告げる「新興写真運動」の先駆けとなりました。創設時より開催された展覧会では、フォトグラム、フォトモンタージュなどの前衛的な作品が発表され、当時の近代写真の先駆者として注目されました。

芸術文化が花開いた当時の芦屋を、当館所蔵作品から感じていただき、芦屋への思いを一層深めていただければと思います。

今日、芦屋のイメージは、明治三十八年に阪神電鉄が大阪・神戸間の開通のもと、大正期から昭和にかけて育まれたモダンな文化を背景に形成されていきました。風光明媚な芦屋の地に移り住む人々の中には、数多くの芸術家たちがいました。

芦屋ゆかりの洋画家・小出楯重は、大正五年に大阪から転居、翌年にアトリエを構え、からは、裸婦像を中心とする数々の名作を描きました。小出のもとには洋画を学びにくる若い人々で活気にあふれ、さまざまな出会いが生まれました。その中に

は、長谷川三郎、松井正、仲田好江、山崎隆夫といった洋画家たちがいました。また、同じ時期には長谷川や吉原治良に影響を与えた上山二郎、二科会や新制作派協会で活躍した伊藤藤雄などがおり、彼らはお互いに影響を与えながら、芦屋で数々の作品を生み出していきました。

一方、昭和四年に芦屋で開かれた写真材料店「ハナヤ勤兵衛」は、写真愛好家たちの交流の場となり、翌年「芦屋カメラクラブ」が結成されました。中山岩太、ハナヤ勤兵衛、高麗清治、紅谷吉之助らを中心に活動を展開した同クラブは、日本の近

代写真の幕開けを告げる「新興写真運動」の先駆けとなりました。創設時より開催された展覧会では、フォトグラム、フォトモンタージュなどの前衛的な作品が発表され、当時の近代写真の先駆者として注目されました。

芸術文化が花開いた当時の芦屋を、当館所蔵作品から感じていただき、芦屋への思いを一層深めていただければと思います。



小出楯重「雪の市街風景」大正14年/油彩・布

近代芦屋と作家たち



上山二郎「カフェにて」大正11年/油彩・布

阪神間モダニズムと芦屋ゆかりの芸術家たち



ハナヤ勤兵衛「シルクハット」昭和12年/ゼラチンシルバー・プリント

昔の暮らし展 — 家族愛とは何か —

本展では、昭和の時代における玩具や衣料・寝具などの生活に欠かせない品々を紹介いたします。同時に、家族そろって神棚に家内安全等が祈られた信仰の歴史を伝える品々も展示します。

家族のあり方の移り変わりなどに思いをはせながら、懐かしい生活文化資料を、ゆっくりご覧ください。

会期 1月4日 ~ 3月25日 月曜日休館 ■会場 歴史資料展示室



飾羽子板/昭和(木造彩色)



枕/江戸時代(木造彩色)

【みんなで歌いましょう】
日時 1月20日(金)午後1時30分~3時
■会場 講義室
■指導 I LOVE ASHIYA(歌・加藤純子/ピアノ・沖倫子)
■参加費 500円*歌集のないかたは、歌集代1,000円別

津高 和一 ~ねこがみた現代美術展

写真=吉野晴朗
阪神ゆかりの画家・津高和一の作品を紹介いたします。絵筆を握るより先に詩作の世界に入った津高の画業は、力強い線表現と色調を抑えた表現に代表されますが、叙情性にあふれ、観る者を静かに心象世界へと誘うようです。こうした画風とともに、津高は犬の愛猫家としても知られ、10匹ほどのねこたちと暮らしながら制作にまい進しました。本展では、吉野晴朗撮影の写真 津高に愛され津高と共にいたねこたちとともに、津高芸術を培った背景に迫ります。

■会期 1月4日~2月19日 月曜日休館 ■会場 第1展示室(2階)
■観覧料 一般300円、大高生200円、中学生以下無料 20人以上の団体別 市内在住の65歳以上・障がい者手帳所有のかた(介護者含む)は半額

《同時開催》 阪神・淡路大震災回顧展



写真=吉野晴朗



津高和一「作品」昭和49年/墨・水彩・紙

1月前半 GATV 広報(番組)ガイド

芦屋市広報番組 あしやトライあんぐる

オープニング	山中市長 年頭のごあいさつ	8:30 12:00 16:00 19:00 22:30
お正月特集	新成人 市長と夢を語る2012	※DVD 貸出可
お知らせ	1. 17 芦屋市折りと誓い 1. 17 ひょうごメモリアルウォーク2012	

■広報番組「あしやトライあんぐる」は、11ch(一部地域を除く)でご覧ください。
■番組に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006
■CATV全般に関する問い合わせ ケーブルネットワーク神戸芦屋(J-COM)カスタマーズセンター ☎0120-999-000

美博 モーニング・コンサート

日時 2月5日(日) 午前11時~ エントランスホール
■会場 井上登紀(フルート)
■出演 井上登紀(フルート)
■参加 要入館料
【観覧(入館)料】
一般300円、大高生200円、中学生以下無料 20人以上の団体別 市内在住の65歳以上・障がい者手帳所有のかた(介護者含む)は半額

井上 登紀
今尾 淑代

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

あしやスポーツフォーラム

「サッカーから見た現代スポーツの潮流」

スポーツジャーナリスト・賀川 浩氏

日時 2月4日(土) 午後3時~5時
■会場 体育館・青少年センター大会議室
■定員 先着80人<要予約>
■申し込み 1月27日(金)までに、下記へ

賀川 浩氏

問い合わせ スポーツ・青少年課 ☎22-7910

平成24年 消防出初め式

日時 1月8日(日) 午前10時~ 午前11時10分
■会場 体育館・青少年センター川西運動場<雨天中止>
■内容 市長式辞・表彰等 マーチング演奏 潮見中だんじりばやし 保存会・消防操法披露・少年消防クラブ模擬演技・救急救助模擬演技・一斉放水

※写真コンテストは実施しません。
※小学6年生までの来場者(先着200人)には、消防オリジナルグッズをプレゼント。

問い合わせ 消防本部管理課 ☎38-2095

ヒューマンライツシアター「おにいちゃんのハナビ」

一年に一度、花火に想いを託す雪国の小さな町。そこに生きた少女と、彼女のために花火を打ち上げた兄との、真実から生まれた感動の物語。

日時 1月21日(土) 午前10時~11時59分 午後2時~3時59分
■会場 上宮川文化センター3階ホール
■出演 高良健吾・谷村美月・宮崎美子・大杉漣ほか/国本雅広監督作品(2010年)・西田征史脚本/藤井フミヤ(主題歌)
■定員 各先着150人 *直接会場へ

問い合わせ 上宮川文化センター ☎22-9229(上宮川町10-5)